企　画　・　デ　ー　タ　ヘ　ル　ス　推　進　グ　ル　ー　プ

1　第２期健康寿命延伸プロジェクト事業の推進

予　算　額　　８９，４０９千円

決　算　額　　７７，０８３千円

(1)　健康キャンパス・プロジェクト事業（若い世代の健康づくり推進事業）

予算額　　２，８７８千円

決算額　　１，５７９千円

府内の１０大学と連携し、栄養・喫煙・歯と口・がん検診等、各大学の健康課題等を踏まえたテーマで学生向けの健康セミナーを開催した。また、２大学には子宮頸がん検診車を派遣し、検診を実施することで、若い世代の健康意識の向上を図った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施場所 | 実施内容 | 参加者数等 |
| 大阪大学（豊中キャンパス） | ヘルスリテラシー向上講座（食・喫煙・がん）（11/27） | 約80名 |
| 食堂でのV.O.S.メニュー提供（8/1～8/31） | ― |
| 大阪府立大学（中百舌鳥キャンパス） | 喫煙対策セミナー（12/3） | 約30名 |
| 関西大学（千里山キャンパス） | 産学官連携ヘルシーメニュー開発・販売（11/13～11/26） | 約500食 |
| 近畿大学（東大阪キャンパス） | ヘルスリテラシー向上講座（歯・食・運動）(12/12) | 約70名 |
| 摂南大学（枚方キャンパス） | 食堂でのV.O.S.メニュー提供（10/21、23、24） | 約130食 |
| 立命館大学（大阪いばらきキャンパス） | 食と栄養セミナー&料理教室（11/15） | 延べ約50名 |
| お口の健康セミナー&チェック（11/28） | 延べ約60名 |
| 大阪教育大学（柏原キャンパス） | 食と栄養セミナー（1/29） | 約100名 |
| 大阪市立大学（杉本キャンパス） | 子宮頸がん検診（12/23） | 28名 |
| がんセミナー（12/23） | 24名 |
| 関西外国語大学（中宮キャンパス） | 喫煙対策セミナー（5/29） | 約830名 |
| 桃山学院大学（和泉キャンパス） | 子宮頸がん検診（10/18） | 38名 |
| がんセミナー（10/17） | 約120名 |
| 喫煙対策セミナー（11/29） | 約250名 |

(2)　中小企業の健康づくり推進事業

予算額　２０，７８７千円

決算額　１８，４６１千円

　府内中小企業（主に製造業）を対象に、中小企業診断士等の「健康経営ナビゲーター」を派遣し、職場における健康経営に係る取組みを支援した。

　また、職場の健康管理などに関する「健康経営セミナー」を開催するとともに、従業員の健康づくりにつながる優れた取組みを行う企業等を表彰する「健康づくりアワード」を実施し、健康経営の普及啓発を行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健康経営ナビゲーター派遣 | １１社を支援し、取組みをまとめた事例集を作成 |
| 健康経営セミナー | ワークショップ形式２回、講座形式１回開催参加者数：計２２３人　※新型コロナウイルス感染症の影響により、講座形式２回分は開催を中止 |
| 健康づくりアワード | １６団体を表彰 |

(3)　女性の健康づくり推進

　①　女性のための健活セミナー事業

予算額　　２，３３０千円

決算額　　１，３３７千円

　　働く女性を対象に、女性特有の健康課題を踏まえたテーマ（乳がん、食事、メンタルヘルス等）で、セミナーを開催し、女性の健康関心度の向上を図った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施場所（日程） | テーマ | 参加者数(合計665人) |
| グランフロント大阪（8/23） | ・子宮について学ぼう・体の元気は食事から | 143人 |
| あべのハルカス（9/6） | ・こころを元気に！働く女性のメンタルヘルス・気になる女性の乳がん | 150人 |
| グランフロント大阪（9/18） | ・今すぐ身につけたい！健康的な運動と食事・睡眠と健康 ～すいみんを知る～ | 127人 |
| あべのハルカス（10/9） | ・腸からキレイな女性になる！・体の元気は食事から  | 135人 |
| グランフロント大阪（11/18） | ・気になる乳がん・今すぐ身につけたい！健康的な運動と食事 | 110人 |

　②　乳がん検診受診率向上モデル事業

予算額　　２，３６２千円

決算額　　１，１６９千円

　　府民の乳がん検診の受診率向上に向けて、気軽に検診を受診してもらう機会を創出するため、大型商業施設へ乳がん検診車を派遣し、近隣市町村の住民を対象とした乳がん検診を実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施時期 | 実施場所 | 検診受診者数(合計120人) |
| 10/31 | イオンモール日根野（泉佐野市） | 60人 |
| 11/5 | イオンモールりんくう泉南（泉南市） | 60人 |

　　　※新型コロナウイルス感染症の影響により、3月分は開催を中止。

(4)　健康格差解決プログラム事業

　予算額　５４，２２４千円

決算額　５０，９９０千円

　①　市町村及び歯科医療機関と連携し、特定健診等の受診勧奨、健康情報の発信、啓発を行った。

（委託先：（一社）大阪府歯科医師会）［４地区医師会が協力］

|  |  |
| --- | --- |
| 勧奨方法 | 実績 |
| 歯科診療所での啓発 | 啓発ちらし20,000部を作成し、歯科診療所で配布 |
| 意識調査の実施 | 歯科診療所を受診した特定健診対象者414人に対し、対面での意識調査を実施 |

　②　保健師等に対して研修及び意見交換会を実施し、保健師の指導力向上による特定保健指導の実施

率向上及びより効果的な保健指導の実施のための支援ツールを開発した。（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取り組み | 概要 |
| 保健指導に必要な知識の習得のための研修 | 【回数（日時）】２回（①６月18日、②12月17日）【場所】大阪大学中之島センター（大阪市）【参加人数・市町村数】132人（①62人、②70人）、35市町村 |
| モデル市町村による検証事業（7市町村） | 【回数（日時）】7回　（①5月21日、②6月17日、③8月15日、④9月11日、⑤10月18日、⑥10月29日、⑦1月21日）【場所】①②④⑦大阪大学中之島センター（大阪市）　　　　③富田林市役所⑤阪南市立保健センター⑥あべの市民学習センター（大阪市） |
| 支援ツールの開発・介入優先度判定ツール（機能拡充）・大阪版リスク評価支援ツール・保健指導記録ツール | ・介入支援対象者の優先度判定ツールに、これまでの健診結果と優先度順位が出力される機能を付加し、経年データから改善の有無と前年度結果を参考に保健指導の実施が可能・健診結果構造図上に介入優先順位の最も高いリスク因子３項目を表示することでリスク評価支援ツールの表示結果を参考にリスクアセスメントを行い、保健指導計画を立案できる |

　③　商業施設等でフレイル測定会を実施し、リーフレット等を用いた啓発や保健指導を行うとともに、府民のフレイル状況の調査を実施した。（委託先：国立医薬基盤・健康・栄養研究所）

|  |  |
| --- | --- |
| 取り組み | 概要 |
| フレイル啓発 | 【回数（日時）】3回（①9月16日、②11月10日、③11月11日）【場所・参加人数】①ららぽーとEXPOCITY（吹田市）：419人②医薬基盤研究所（茨木市）：362人③摂津市保健センター：180人 |
| フレイルチェック・保健指導 | ＜保健指導＞フレイル測定・保健指導を実施【回数（日時）】介入前6回、介入後2回　（介入前：①7月1日・②7月2日・③7月3日・④7月5日・⑤7月8日・⑥7月9日、介入後：⑦10月3日、⑧10月4日【場所】摂津市立コミュニティプラザ（摂津市）【参加人数】介入前537人、介入後39人 |
| ＜特定健診＞特定健診事業にフレイル測定会を同時開催【回数（日時）】4回　（①10月31日、②11月5日、③2月15日、④2月16日）【場所】①②寝屋川市立保健福祉センター③摂津市立別府コミュニティセンター④摂津市立新鳥飼公民館【参加人数】363人（①②63人、③④300人） |
| フレイル状況の調査 | 府民8,000人に対し、アンケート票を郵送して調査を実施。（阪南市） |

(5)　府民の健康づくり気運醸成事業

予算額　６，８２８千円

決算額　３，５４７千円

市町村や民間企業、関連団体等と連携し、オール大阪での健康づくり推進活動におけるキャッチコピーである「健活１０」〈ケンカツ テン〉を活用した情報発信やツール作成等を行い、府民の主体的な健康づくりを促す気運の醸成を図った。

また、健康づくり推進条例に基づく健康づくりの推進体制として、多様な主体が参画する「健活おおさか推進府民会議」を設置し、日本健康会議との共催でキックオフ会議を開催した。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 「健活10」の活用による周知啓発 | ・9月～11月を「おおさか健活フェスタ2019」と銘打ち、健康イベント情報誌（期間中の80の健康イベントを掲載）や健康アプリ「アスマイル」の活用冊子を制作、配布・企業との連携イベント等で「健活10」のポスターやのぼりの掲示、動画の放映、チラシやグッズの配布等を実施・企業や団体に「健活10」ロゴの活用を呼びかけ、25団体がチラシやWeb等でロゴ使用を申請 |
| 「健活おおさか推進府民会議」の設置・開催 | ・7月に「健活おおさか推進府民会議」を設置、以降企業や保健医療関係団体等を中心に参画を呼びかけ、114団体が入会・9月13日にキックオフ会議を開催（日本健康会議との共催）、厚生労働省や経済産業省、専門医からの講演のほか、首長や企業代表者等からの取組み事例発表等を行い、約800人が来場 |

2　健康づくりに関する連携体制の整備

(1)　健活おおさか推進事業

 予算額　２００千円

決算額　２００千円

大阪府健康増進計画に掲げる目標達成に向けた府民の健康づくりを推進するため、健康づくり推進条例に基づき設置した「健活おおさか推進府民会議」を軸として、健康づくりに関わる団体と連携・協働して健康づくりの気運醸成を図った。

(2)　地域・職域連携推進事業

 予算額　３，８４５千円

決算額　１，７９４千円

生涯を通じた健康づくりを支援するため、行政、事業者、医療保険者等の関係機関による「地域職域連携推進協議会」を運営し、「第３次大阪府健康増進計画」に関する進捗報告を行った。

地域特有の課題については、保健所圏域地域・職域連携推進事業において検討し、関係機関との連携を図りつつ、対策を推進した。

(3)　地域医療連携事業

 予算額　３，３５７千円

決算額　　　９３６千円

地域において、複数の医療機関が疾患別に形成する診療ネットワークにより、二次医療圏における脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病について地域特性に応じた医療連携体制の充実を図った。

(4)　精度管理基礎調査

 予算額　５，４１４千円

決算額　５，４１３千円

府内における検診を円滑に推進するため、特定健康診査等の健康診査及び子宮がん検診における検診実施機関、検査機関の検診精度管理調査を（一社）大阪府医師会に委託して実施した。

3　循環器疾患の予防対策（（公財）大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター委託）

予算額　１０２，９１４千円

決算額　１０２，７６９千円

(1)　市町村国民健康保険、後期高齢者医療制度の医療費データ及び市町村国民健康保険における特定健診・特定保健指導データ、協会けんぽ大阪支部の特定健診データから医療費及び疾病の構造分析を行った。

(2)　市町村における保健事業を効果的に進めるため、汎用性の高い行動変容プログラムの改修、データを活用した保健事業の創出と事例収集、保健従事者等に対する研修会の開催を通じ、技術的支援を行った。

(3)　特定集団の健康状況に係るデータを追跡・調査し、蓄積されたデータに基づき、循環器疾患の予防対策に活用した。

(4)　府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能として、循環器疾患の予防に関する情報発信等を行った。

4　健康増進事業の促進

予　算　額　　３２０，３７８千円

決　算　額　　２７３，５３０千円

　市町村が実施する健康増進事業に要する経費について、所要の補助金を交付した。

○根拠法令等

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　健康増進法第１７条、第１９条の２